

操作マニュアル

ICCMS支援アプリ v1.0.1 - 2026.3.15



一般社団法人 **ACFF 日本支部**
う窩のない未来への同盟

目次

ICCMS支援アプリの起動方法. 1

ICCMS支援アプリによる検診の流れ. . . 2

画面ごとの機能説明

設定	3
個人のう蝕リスク	4
歯の状態の記録	5
ICDAS・活動性	6
エックス線検査	7
各歯の統合したう蝕リスク	8
う蝕リスクへの対応	9
終了	10

その他画面の機能説明

ヘルプ	11
レポート印刷, スクリーンショット, やり直し	12



ICCMS支援アプリの起動方法

1. 以下URL「ICCMS支援アプリ」をブラウザからアクセスします。

<https://acffjapan-iccms.jp/>

ユーザーID : 事務局へ
パスワード : お問い合わせください



2. 「Welcome」画面が、表示されます。
メッセージに同意して、アプリをご利用ください。



3. 「ICCMS支援アプリ」画面が、表示されます。



画面の左にあるメニュー

ICCMS支援アプリによる検診の流れ



設定

1. 検診情報を入力します。

【初診の場合】

「整理番号」「受診者」「検診日」「検査者」を入力して下さい。

【再診・継続の場合】

[A]に保存した検診ファイルを入力して読み込むと
読み込んだ検診情報が、表示されます。

再診の場合は、「検診日」「検査者」を更新して下さい。

2. 設定を編集します。

- ①歯の状態の記録法 ****1**
- ②歯の状態の記録
- ③歯式表記
- ④エックス線検査 ****2**
- ⑤歯根のう蝕検査 ****2**
- ⑥検査順
- ⑦プリンター種別

3. 設定画面を決定・取消します。

決定 入力内容を確定します。この画面を閉じ、検診を始めます。

取消 入力内容を破棄します。この画面を閉じ、検診を始めます。

※[決定]した後は、画面左メニューの「ギアアイコン」をクリックすることで、この「設定」画面を呼び出すことが可能です。

****1** 「診療録の略称」と「ICDASコード」は互換性がないため変更した場合は再入力してください。

****2** 「検査しない」を選択した場合は、歯式は初期値（歯根は“E”, X線は“-”）に変更されます。

個人のお蝕リスク



1. 「う蝕の防御因子」「全身・口腔に関連したう蝕リスク因子」の各項目を✓します。
2. 入力が完了すると、画面右下[A]に個人のお蝕リスクが表示されます。この判定結果は、[A]をクリックすることで、下図の①～③の様に変更することができます。
判定を変更した場合は、顔アイコンの右に[編集アイコン]が付きます。

①自動判定
「より高い」
をクリック

②注意画面
はい 判定を変更します
いいえ そのまま (①に戻る)

③手動変更
※判定を戻す場合、
①から繰り返す。



3. 画面左下[B]の **編集** をクリックすると、下図の編集画面が開きます。(印刷する場合は、全角40文字 x3行まで、画面に表示する場合は、全角15文字x8行まで、入力可能です。)



【決定・取消方法】

- 決定** 確定し、この画面を閉じます
- 取消** 破棄し、この画面を閉じます



歯の状態の記録



検査結果を入力します。

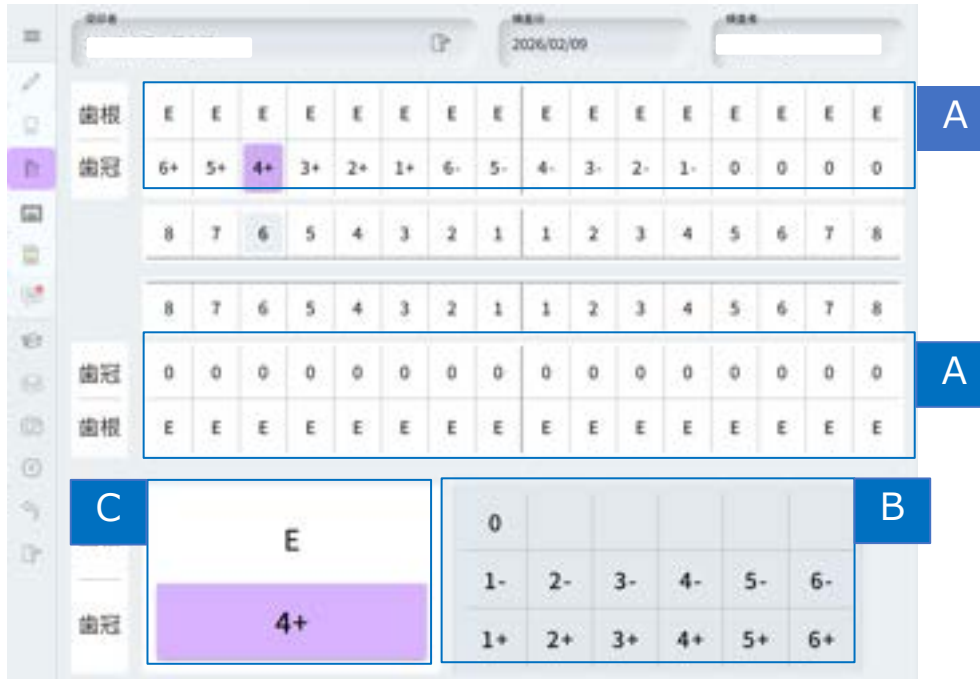
「MT」「インプラント」は、「ICDAS・活動性[(P.6)]と「エックス線検査[P.7]」の対象歯から除外します。

【入力方法】

- ① [A]で検査対象となる歯をクリックして選ぶ。
- ② [B]のキーパッドから歯の状態をクリックして入力する。
その後、検査の対象となる歯は、次の歯へ進みます。
連続して記録する場合、②の操作を繰り返してください。
※上顎の右側からコの字順に、検診（①～②）します。



ICDAS・活動性



1. 検査結果を入力します。

【入力方法】

「歯の状態の記録(P.5)」と同じ入力方法です。

[C]は、[A]で選択された歯の 歯冠・歯根 です。

2. その他の所見を入力したい歯[A]をクリック。選択された歯をクリックすると、下図の「各歯の所見など」画面が表示されます。

【各歯の所見などの入力方法】

① [M]に所見を入力して下さい。

いずれも、キーパッド[N]または、キーボードから入力します。
※全角20文字まで入力可能です。

[L]には入力したICDAS Codeが表示されています。
ここでの変更も可能です。



【決定・取消方法】

- 決定 確定し、この画面を閉じます
- 取消 破棄し、この画面を閉じます



エックス線検査



The screenshot shows the software interface for X-ray examination. At the top, there are fields for patient name, date (2026/03/09), and department. Below this are two rows of tooth status indicators (歯冠) for the upper and lower arches. The teeth are numbered 1-8 on both sides. A blue box labeled 'A' highlights the status indicators for tooth 5 in both arches. Below the status indicators is a table for recording findings (X0-X4). A blue box labeled 'B' highlights the table.

X0	-			
X1	X2	X3	X4	

1. 検査結果を入力します。

【入力方法】

「歯の状態の記録(P.5)」と同じ入力方法です。

2. その他の所見を入力したい歯[A]をクリック。選択された歯をクリックすると、下図の「各歯の所見など」画面が表示されます。

【各歯の所見などの入力方法】

「ICDAS・活動性(P.6)」と同じ入力方法です。

The screenshot shows the '各歯の所見など' (Findings for each tooth) input screen. At the top, there is a field for tooth selection (歯冠右上6 4+) and a search field (歯冠検索). Below this is a grid for recording findings (ICDAS activity). The grid has columns for 0, 1-, 2-, 3-, 4-, 5-, 6- and rows for 1+, 2+, 3+, 4+, 5+, 6+.

0					
1-	2-	3-	4-	5-	6-
1+	2+	3+	4+	5+	6+



各歯の統合したう蝕リスク



個人のう蝕リスク		統合したう蝕リスク (低 中 高)																	
より低い																			
ICDAS 活動性 (+)	記録	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
エックス線	記録	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ICDAS 活動性 (+)	記録	6+	5+	4+	3+	2+	1+	6-	5-	4-	3-	2-	1-	0	0	0	0	0	0
歯の状態の記録	記録	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
統合した う蝕リスク	記録	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8		
	記録	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8		
歯の状態の記録	記録	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ICDAS 活動性 (+)	記録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エックス線	記録	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ICDAS 活動性 (+)	記録	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

各歯の統合したう蝕リスクが、色分けして表示されます。

(注意)

この画面を表示すると、う蝕リスクへの対応が変更されます。
対応文は、「う蝕リスクへの対応(P.9)」画面で、
編集することができます。

メニューアイコンの「う蝕リスクへの対応」に
赤いバッジが付いた場合、対応文が更新されています。
対応文を必ずご確認ください。



赤いバッジが付いた「う蝕リスクへの対応」メニューアイコン



通常の「う蝕リスクへの対応」メニューアイコン

う蝕リスクへの対応



1. 「統合したう蝕リスクの各歯部[A]」「う蝕リスクコントロール[B]」「統合したう蝕リスク対応[C]」を選択すると、[A]の選択された歯部が点滅し、対応文[D]が表示されます。

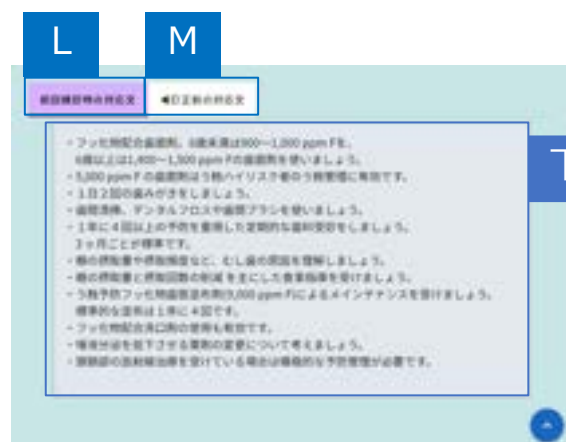
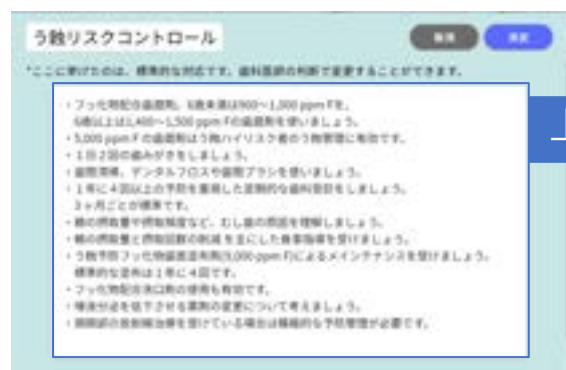
2. 表示された対応文を編集する場合は、画面右上[E]の **編集** をクリック。
※「統合したう蝕リスク対応[C]」が選択された場合は、対応文の編集ができません。

3. 右図の編集画面が表示されます。

参照エリア[下]には前回検診時や訂正前の対応文が表示されます。これらの対応文をコピーして、編集エリア[上]にペーストしてご利用いただけます。

「前回検診時の対応文[L]」または、「訂正前の対応文[M]」をクリックすると、参照エリア[下]に対応文が切り替わり表示されます。

▷ 「う蝕リスクコントロール[B]」は全角40文字x15行まで、入力可能です。



【決定・取消方法】

- 決定** 確定し、この画面を閉じます
- 取消** 破棄し、この画面を閉じます

終了



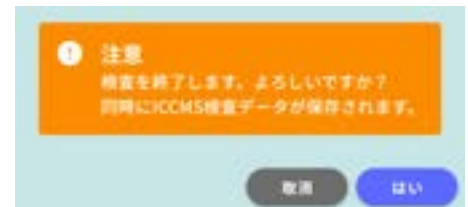
保存して終了します。（赤丸部の「出口アイコン」をクリック）

（注意画面）

終了または中断する場合、必ず、**はい** をクリックしてください。

【応答】

- はい** 保存する。検診を終了します。
- いいえ** クリックする前に戻る。



終了後、「設定(P.3)」を表示。
次の検診を始める。もしくは、
検診を終了**1する。

**1「正常終了」ブラウザを終了する。
この手順以外の終了は、異常終了となります。
次回起動時、修復処理「下図、注意画面」が起動します。

（異常終了後の起動時注意画面）

復旧する場合、必ず、**はい** をクリックしてください。

【応答】

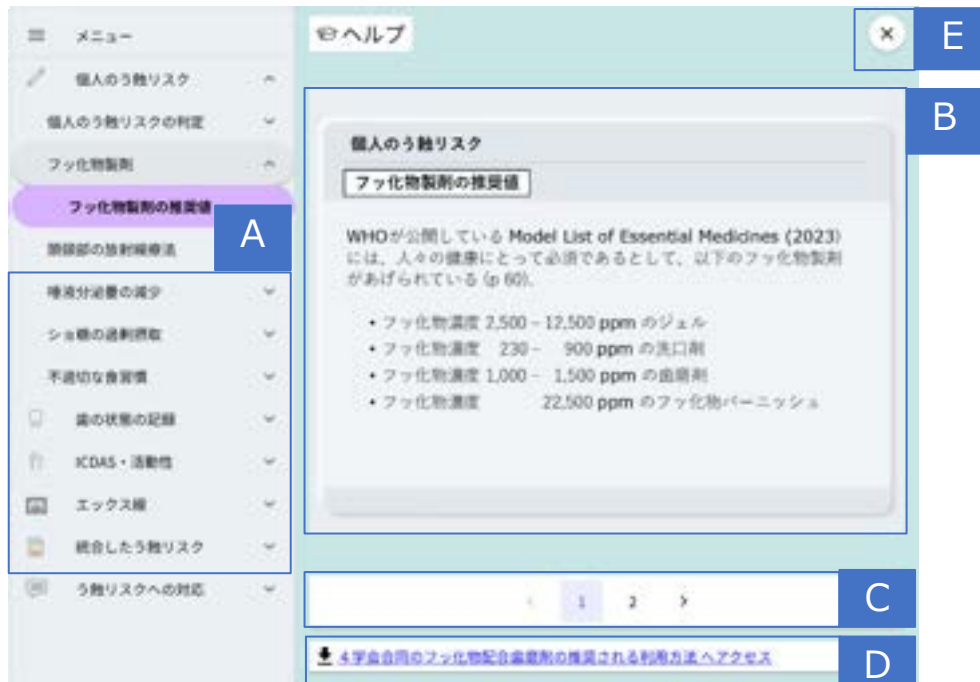
- はい** 復元処理を実行します。
- いいえ** 新しく検診を開始します。




（注意）

[いいえ]を選択すると、データが破棄され、復元できなくなります。

ヘルプ



「学帽アイコン 」をクリックすると、ヘルプが開きます。

【操作方法】

[A] 関連するヘルプの目次（クリックで、ヘルプ[B]が表示）

[B] ヘルプ画面

拡大写真がある場合は、タップもしくはマウスオーバーで、左下の図①のような画面になります。

続けて、タップもしくはクリックで、右下の図②の拡大写真が表示。

[C] 「ヘルプ[B]」が複数ページにわたる場合、ページャー[C]が表示。

[D] リンクを表示。

[E] ヘルプの終了。

①拡大写真がある場合



②拡大写真




[L] 前の拡大写真を表示。

[M] 次の拡大写真を表示。

[N] 拡大写真を閉じます。

レポート印刷

ICCMSレポートのPDFファイルをダウンロードします。

(「プリンターアイコン  」をクリック)

レポートを出力する場合は、メニューの「プリンターアイコン」をクリックして下さい。

プリンターアイコンが無効の場合は、メニューの「統合したう蝕リスク」のアイコンをクリックして下さい。クリックすると「プリンターアイコン」が有効になります。

(カラープリンターがない場合)
「設定(P.3)」プリンター種別で、“モノクロプリンター”を選択してください。


スクリーンショット

各画面の画像ファイル(png)をダウンロードします。

(「カメラアイコン  」をクリック)

やり直し

各ページの起動状態からやり直します。

(「やり直しアイコン  」をクリック)

開いている画面の情報がリセットされます。
対象となる画面は、P.4~P.7です。

ICCMS支援アプリ

2 版 令和8年 3月15日 改訂 ver. 1.0.1
初 版 令和7年11月30日 発行 ver. 1.0.0

発 行 一般社団法人 ACFF 日本支部
〒171-0031 東京都豊島区目白2-5-24
第2平ビル 学際企画株式会社内
tel. 03-3981-7281 (代表)
fax. 03-3981-7284
e-mail acff@gakusai.co.jp